

Warm Up Time 使用マニュアル



Warm Up Timeは毎月1から順に配信される、ゲームです。

内容は

- 1) Photo Image (フォトイメージ)
- 2) Archery (アーチェリー)
- 3) Spin (スピン)
- 4) Sound Matching (サウンドマッチング)
- 5) Division (ディビジョン)

の5種類です。

いずれも、写真記憶や動体視力、空間認知力などを鍛えるエクササイズですが、楽しみながら取り組むことができる内容です。

Photo Image

フォトイメージ

^{つぎ} 次のイラストを^{びょうかん} 5秒間みて、^{こた} 答えることを
^{かい} 4回くりかえしてください。

こまかく おぼえようとせず、^{ぜんたい} 全体をみて
^{しゃしん} 写真をとるように おぼえるのがコツです。

START



スタートボタン(ゲームスタート)



メニューに戻る

写真記憶をする感覚を鍛えたいエクササイズです。

写真記憶とはありのままの情報を記憶することです。

例えば、

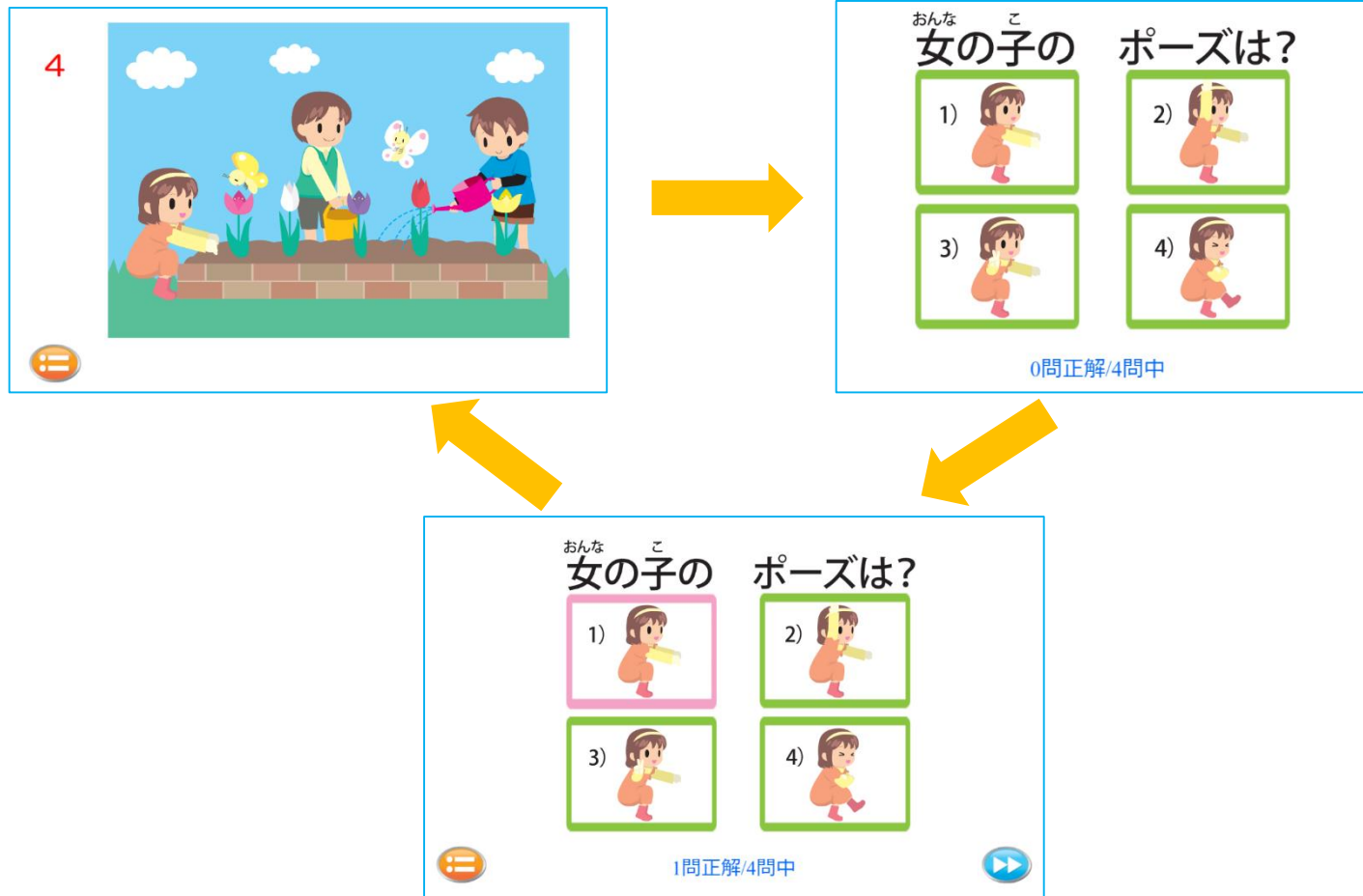
「人が何人いて、花が何本咲いていて・・・」

のように言語化する記憶ではなく、あくまでも映像として記憶します。

実は、これこそが速読力をつける一番の取り組みです。

映像を記憶するコツを取り組みの中でつかんでいきましょう。

Photo Image



4

5秒間カウントダウンします



次に進むボタン

5秒間、イラストは表示されます。
その後に、自動的に問題が表示されます。

問題に答えた後に、次に進むボタンを押すと、再度同じイラストが表示されます。

また、5秒後に別の問題が表示されます。

問題は、全部で4問あります。

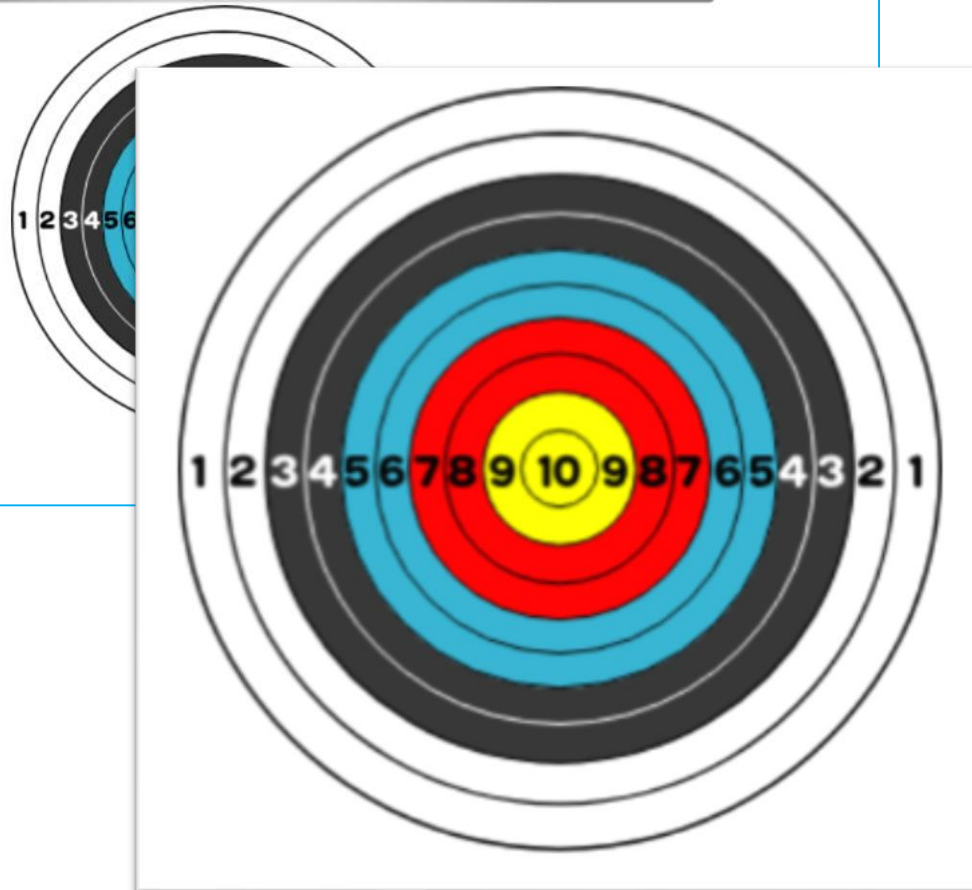
毎月異なったイラストが配信されますので、忘れた頃に繰り返し行うことも可能です。

また、子どもは特に一度覚えた解答を何度もやりたがる傾向がありますが、それで良いです。飽きる迄、やってあげてください。

Archery

アーチェリー

アーチェリーは ^や矢が どこにあたったかで
^{てん すう}点数が ^き決まるよ。



アーチェリーは矢が的に1本ずつ当たります。

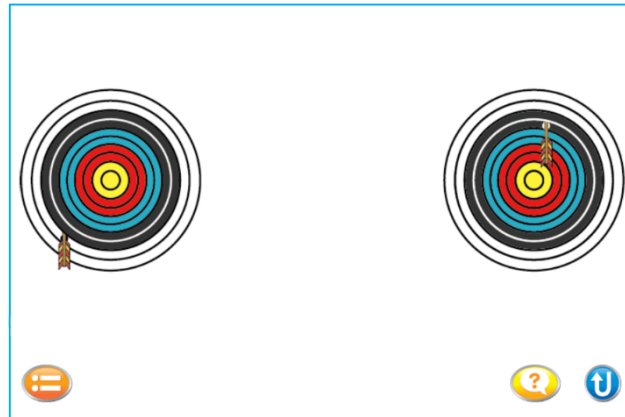
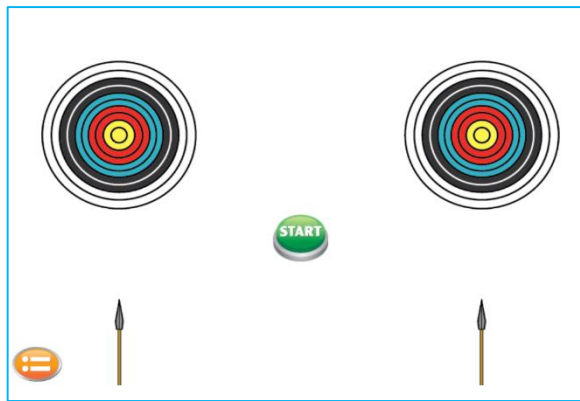
どこに、あたったのかを集中して見ます。

集中力と動体視力を鍛えるエクササイズです。

また解答するには、足し算の理解が必要です。

最初は的は2つからですが、順次段階的に的の数を増やしていき、12カ月目には4つの的となります。

Archery



スタートボタンを押すと、別々の場所から同時に矢が放たれます。

「もう一度動画表示」をクリックすると同じ動画が流れます。

問題は2問あります。

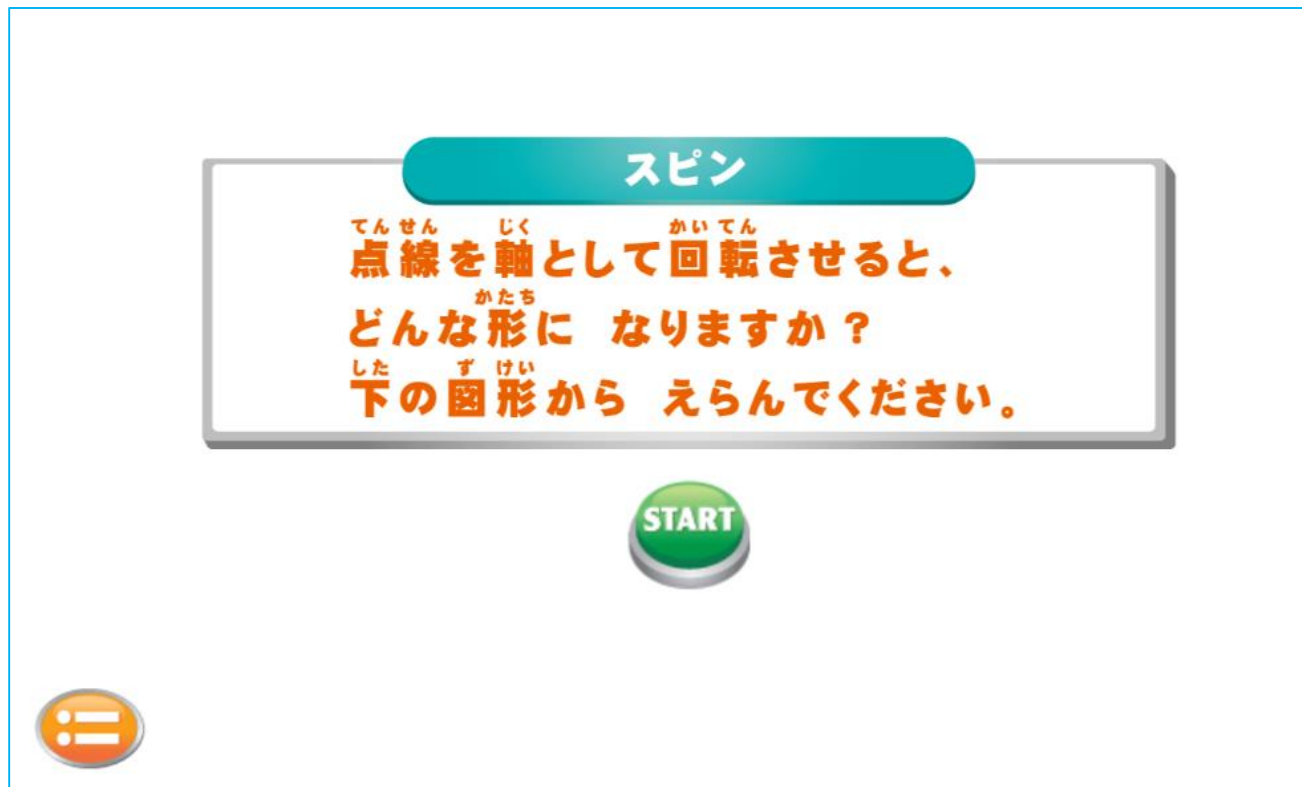


問題へ進む



もう一度動画表示

Spin



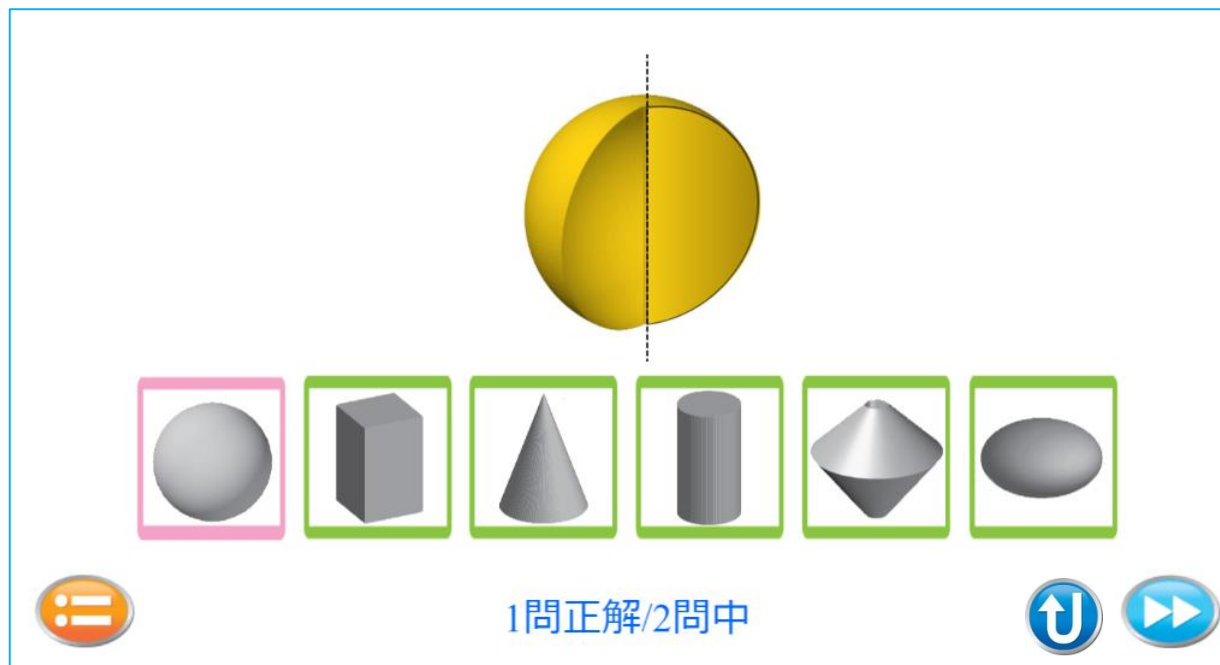
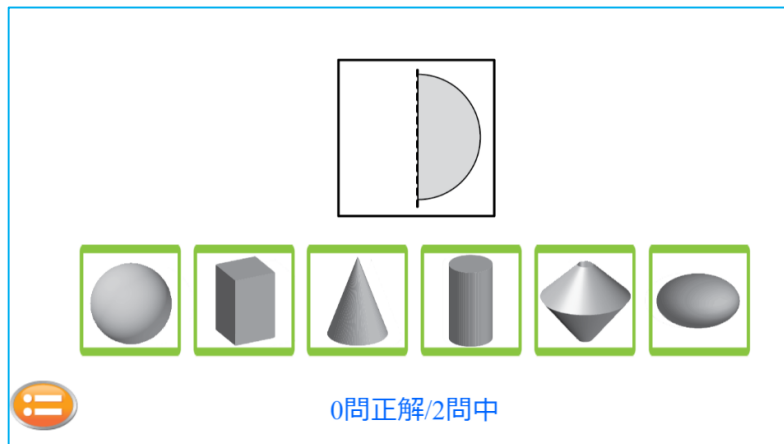
スピンは、平面図から立体図形を読み取るエクササイズです。

中心軸から、回転体がどのように表示されるのかを考えます。

これらのエクササイズは、デザインや建築における図面から実物を読み取るというような空間認知能力の訓練にもなります。

楽しみながら、立体を想像してください。

Spin



最初は中心を軸とした断面図が書かれています。

それを元に下部にある立体のうち、どれが正しいかをクリックしてください。

解答を選んだ後に、実際に3Dで画像が360度回転します。

中心軸は、必ずしも上下に引かれているとは限りません。
どこに中心軸が引かれているのかも注意しましょう。

何度も繰り返し、見せてあげてください。

Sound Matching

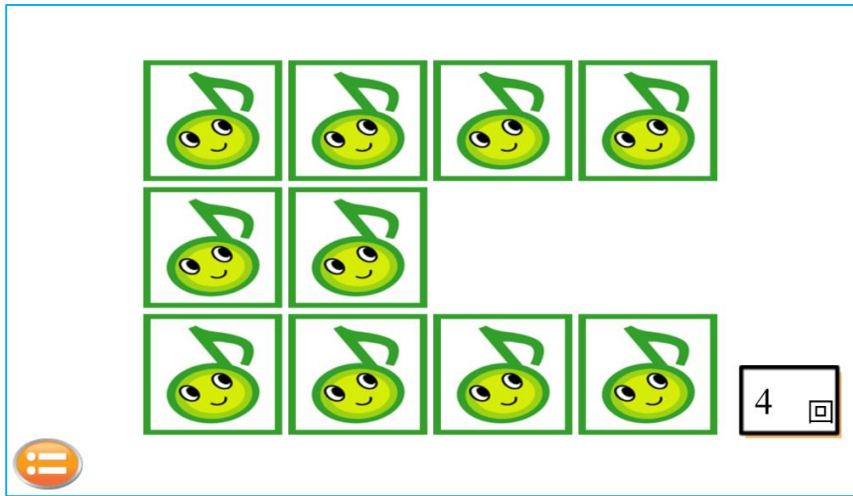


サウンドマッチングは、音の神経衰弱です。
視覚的な情報ではなく、音の情報から判断をしていきます。音声は言語化しがたい対象物であり、似ている音を故意に使っています。記憶のコツをつかむのが狙いです。

一人で取り組むことも良いですが、ご家族やお友達と順番にチャレンジすることも良いでしょう。

このゲームは、スタート毎に音の配列がランダムに変わりますので、何度も挑戦することができます。

Sound Matching



4 回

回数をカウントします

6回でクリアした

右脳の超人!

7～10回でクリアした

右脳の達人!

11～14回でクリアした

右脳のチャンピオン!

15～18回でクリアした

チャンピオンをねえ!

19～24回でクリアした

まだまだいけるぞ!

25回以上でクリアした

最後までよくやったね!

音の神経衰弱ですので、1ペア毎にカウントをします。

何回でクリアしたのかによって、終了後に表示されるメッセージが異なります。

また、随時配信される回によって異なる音を使用していますので、様々な音に触れることができます。

最強の強運者、右脳の超人を目指してトライしましょう。

Division ~China~

ディビジョン

しょう ちよつかつ し じ ち く とく べつ く
省・直轄市・自治区・特別区の
かたち なまえ ばしょ
形と名前と場所を おぼえて、
その後の問題に 答えてください。

Division 1

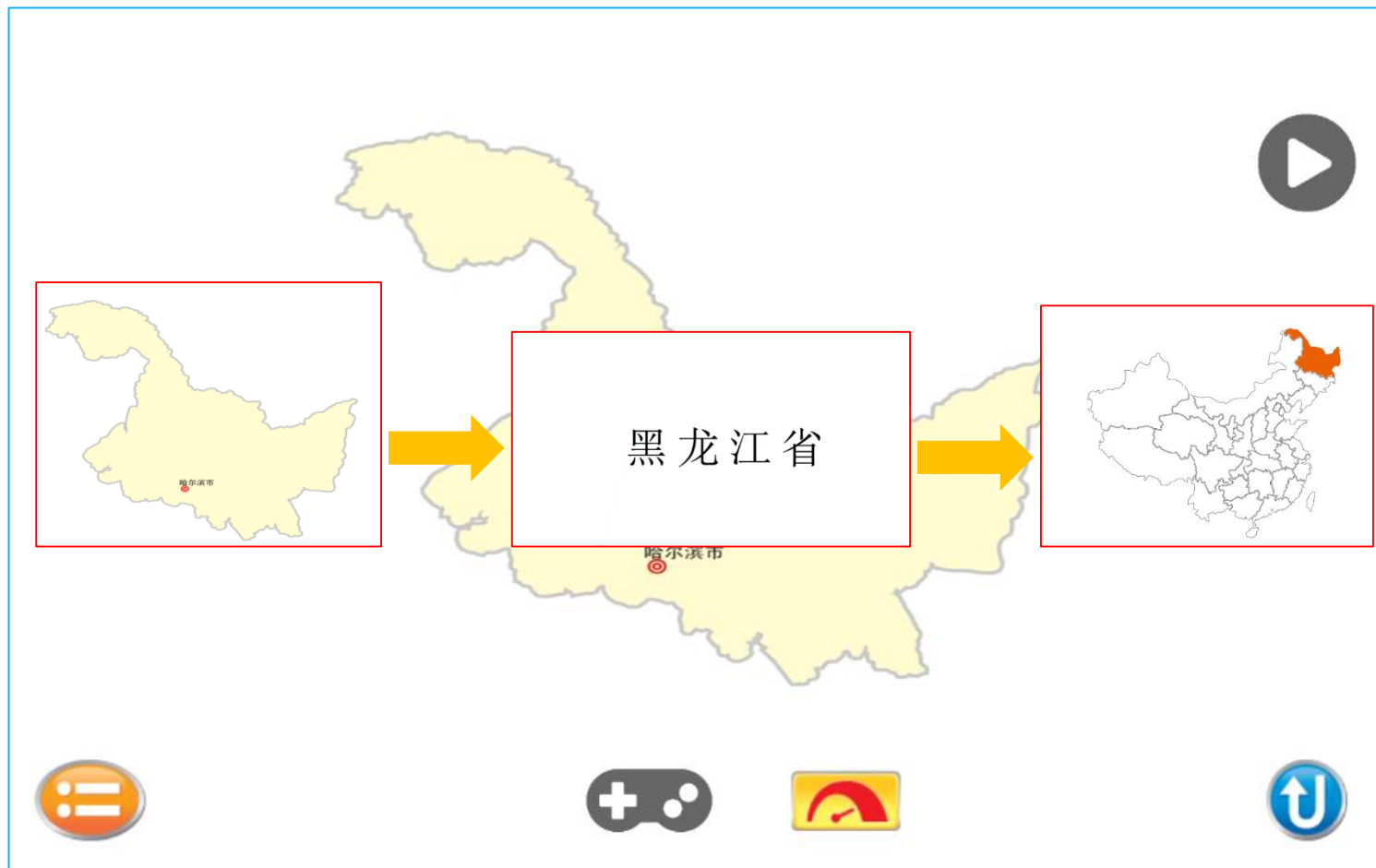


Division (ディビジョン) とは行政の区域・地区という意味です。

中国の東北地区・華北地区・華東地区・華中地区・華南地区・西南地区・西北地区を、まとめテストの回も含めながら12回の配信で覚えるようにします。

日本語発音での地名読みではなく、中国語発音で収録されていますので、そのままの音で耳と映像で覚えていきましょう。

Divisin ～China～



問題へ進む



通常スピード



2倍速スピード



一時停止



再生再開

スタートを押すと、フラッシュカード式でまずは省・自治区の形と首都が記載されます。
次に省名が表示され、最後に位置が表示されます。

一つの省につき2巡されます。

フラッシュカードのスピードは、メーターマークをクリックして2倍速にすることができます。

また、右上の一時停止をおしてフラッシュをストップさせることもできます。

Divisin ～China～



最後にreviewとchallenge問題が表示されます。

覚えることができているかをチェックしましょう。

review問題は、20秒以内に解けるようになることを目標に取り組みます。

左側に省の形が表示され、右に表示される省名から正しいものを選びます。

Challenge問題は省の形が回転しながら表示されます。その後、省名が表示されるので正しいものを選びます。

クリアしてメダルの雨を降らせてください。